

市民が主役！躍動するまち 多治見

たじみすと

Tajimist

12

2025

No.2395

令和7年12/1発行

広報たじみ

多治見市 LINE



特集

新たなスタートに向けて



第7回 フォトコンテスト 入賞作品紹介

問 秘書広報課
☎ 22-1372

Instagram



撮影者 

@takayoshi_aoさん

撮影場所

虎溪山 永保寺

令和6年11月1日～令和7年1月5日
までの期間で実施をした第7回フォト
コンテストの入賞作品を1作品ずつ
フォーカスして約1年にわたって紹介し
ていきます。



撮影者からのひとこと

永保寺の庭園を雪景色で撮る構図を考えて
雪日を待つ、気象情報で確認して朝一で向か
う。無際橋と国宝の観音堂を入れて玉ボケで雪
が降ってる雰囲気を出せたと思います。

12月 駅北庁舎休日開庁日

駅北立体駐車場をご利用ください

市民課 保険年金課

12月28日(日)

開庁時間
8:30～17:15

2025 12 CONTENTS もくじ

- 02 - フォトコンテスト入賞作品紹介／休日開庁
- 03 - 多治見市の産後のママをサポートします
- 04 - [特集] 新たなスタートに向けて
- 07 - 美術・文化情報／バロー文化ホール情報
- 08 - 年末年始の業務案内／生活情報
- 13 - 土岐川観察館／地球村／パブリック・コメント
- 14 - 税務情報／し尿処理 など
- 20 - 相談窓口／定期健診
- 22 - 健康情報／スポーツ情報／新庁舎だより など
- 26 - 障がいのある人の「働く」を知る
- 27 - 夜間在宅当番医 など

- 28 - 青と緑の物語／たじみのたからもの
- 29 - 市民病院だより／子育て応援!あそびナビ
- 30 - マイタウンホットニュース



今月の表紙

笠原小学校、笠原中学校の後期児童
生徒会執行部の皆さんです。今回の特集
は令和8年4月の義務教育学校の開校に
向けた、小学校、中学校の取り組みの様子
をお伝えします。



多治見市民病院の一部スペースを利用した産後ケアのご紹介

～産後のお母さんをサポートします～

問 保健センター ☎23-6187

産後ケアとは、産後1年未満のお母さんと赤ちゃんに助産師などの専門職が寄り添い、宿泊型・通所型・訪問型の産後ケアを組み合わせ、出産後のお母さんの心身のケアと、育児のサポートをするサービスです。

令和7年4月から、多治見市民病院の一部スペースを利用し、訪問看護ステーション^{こはな}是花（緒花むすび）が産後ケアをスタートしました。

今回は、多治見市民病院で実施する産後ケアの内容について紹介します。

Q：多治見市民病院で実施する産後ケアの特徴を教えてください。



A： 通所型和宿泊型のサービスを実施しています。産後1年未満のお母さんと赤ちゃんを対象に助産師がマンツーマンでケアを行っています。経験豊富で温かなまなざしを持つ助産師や保育士などが、不安を抱えるお母さんたちに寄り添い、安心して過ごせるようケアを行っています。



Q：どんなケアが受けられるのか、1日の流れを教えてください。

A： ケアの最初はカウンセリングから始めます。お母さんがその日、どんな風に過ごしたいか、身体や心の悩みなど時間をかけて伺い、その日のスケジュールを決めていきます。休養を希望される場合は、赤ちゃんをスタッフが預かり、その間ゆっくり個室で自分時間を作ったり、足湯などでゆったりとした休息の時間をお過ごしいただきます。中には、「子育てしているお母さんと話がしたい」と希望される方もおり、共有スペース内で交流しながら過ごす方もみえます。

産後ケアルームは、「赤ちゃんわたし、それぞれが自分らしく過ごせる空間」になっています。



産後ケアの利用を考えている方に、利用されたお母さんからのメッセージをお伝えします

育児について人に頼っていいのか、1人で悩んでいる方がみえたらぜひ利用してください。きっと、「わたし」を取り戻すためのゆったりとした時間が、また育児を好きにさせてくれる」と思います。

発達やミルクの事などいろいろと聞けました。AIでも教えてくれるけど、赤ちゃんを前にして話ができることの大切さや安心感がありました。娘も満足だったはずです。

「今のままで良いですよ」の一言でとても気持ちが楽になり、自信が付きました。

普段は上の子に合わせた日々を過ごしていますが、下の子のためにゆっくりできる貴重な1日でした。子どもたちに優しくできそうです。

人見知りが始まりましたが、自分以外の目があると安心でき、気も楽になりました。

産後ケアの詳細



産後ケアの申請
(電子申請・妊婦用)



産後ケアの申請
(電子申請・産婦用)



東濃初の義務教育学校

令和8年4月、「笠原小学校」と「笠原中学校」を統合し、東濃地区初となる義務教育学校が開校します。1年生から6年生までを前期課程、7年生（中学1年生）から9年生（中学3年生）までを後期課程とし、子どもたちはひとつの教育方針の下で9年間学ぶことになります。この特集では、開校に向け、準備に取り組む笠原小学校、笠原中学校の様子をお伝えします。

特色ある教育活動を目指して

市では、第8次多治見市総合計画において「子育て世代が選び、住み続けたいくなるまちづくり」を政策の柱の二に掲げ、子どもが安心して学び、自分の良さを信じて成長していけるよう、学校教育の充実に取り組んでいます。

施策の一つとして、従来から幼保小中一貫教育を進めてきた笠原地区の取り組みを継続、発展させ、より高い教育効果を実現することを目指して義務教育学校の開校を進めることにしました。

義務教育学校だからこそ実現できる特色のある教育活動としては、次の点が挙げられます。

（１）教科担任制 前期課程から、一部の教科（外国語、理科、算数など）につ



特集

新たなスタートに向けて

問 教育推進課 ☎23-5904



①②③10月1日に開催したスポーツフェスティバルの様子。小学校、中学校の児童生徒が一緒に行う初めての大きな学校行事となりました。

④建設中の笠原小中学校校舎のパース図。1～9年生の児童生徒が校舎内を自由に移動しながら異学年の児童生徒や学習内容に触れる機会も持つことができる空間を目指しています。

⑤笠原小中学校の開校と同時に、笠原保育園と笠原幼稚園が統合した、笠原こども園が開園します。

いて教科担任制を導入することで、専門性の高い授業を行うことができ、子どものもっている可能性や能力を最大限に伸ばすことができます。

(2) 異学年交流 1年生から9年生までが同じ校舎で日常的に生活すること、さまざまな交流が生まれます。上級生の活動に憧れの気持ちをもったり、下級生をサポートする中で、思いやりの心や自己肯定感が高まったりします。

(3) 教職員間の連携や協働 施設が一体であることで、「生活のきまり」など学校生活の統一した約束を決め、9年間を貫く児童生徒指導が実施しやすくなります。いわゆる「中1ギャップ」を軽減することにもつながり、教職員組織がひとつであることで、児童生徒に関する情報を日頃から共有し、きめ細かな指導を実現します。

学校名は「笠原小中学校」

多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会(※)で検討を重ね、笠原校区の関係団体、笠原小学校、笠原中学校の児童生徒の意見をもとに、なじみやすさ、言いやすさ、書きやすさの観点から、学校名を「笠原小中学校」に決定しました。

※これまでの笠原幼保小中一貫教育の成果と実情を踏まえ、その有効性、効果的な教育課程の導入、施設整備の基本方針などについて調査、研究を行う組織。幼保小中の保護者、地域の住民、小学校、中学校の代表者、市の職員などで構成されています

児童生徒会活動

4月の開校に向け、今年度から小学校、中学校の児童生徒と一緒に活動を始めています。

児童生徒会

児童生徒会執行部

会長1人
副会長2人
(小学6年生1人、中学3年生1人)
書記2人
(小学6年生1人、中学2年生1人)

委員長、副委員長 12人

この半年間は、小学生と中学生の絆が深まるような活動ができるといいなと思います。来年からは同じ校舎で小学生と中学生と一緒に生活できるのを楽しみにしています。

児童生徒会副会長 小出さん



私たち3年生は、今年で卒業ですが、これからの半年間、小学校、中学校で大切にしているあいさつ運動などの伝統が新しい学校にも引き継がれるよう、活動していきたいです。

児童生徒会会長
溝口さん



小学校、中学校の現在の様子

後期始業式では、3年生に「これからの半年は、笠原中学校の最後を締めくくる大切な時間になる。最後まで“学校の顔”として全校をリードして欲しい」と話しました。1・2年生には「来年4月には8・9年生となり、新しい学校のリーダーとなる準備をする時間になる」と話しました。これまで開校に向け、児童生徒会活動、スポーツフェスティバルなど小中合同で活動する機会を増やしてきました。10月のスポーツフェスティバル開会式では、小・中学生が交互に並ぶ場面がありました。中学生が、となりの小学生を自然に気遣っているのを感じました。また、競技中には入り混じって仲間に声援を送る姿も見られました。さらに、学年主任や担任のアイデアにより、小学生を「掃除の留学生」として迎え、自慢の掃除を伝える“草の根交流”などにも取り組んできました。大きな行事だけでなく、このような形での交流も始まっています。休み時間などに小学生と中学生と一緒に座って話しているような微笑ましい姿も見られ、徐々にひとつの学校になる準備ができつつあると実感しています。間もなく、9学年がひとつ屋根の下で学ぶ学校生活が始まります。その日を心待ちにしながら、あと数カ月、しっかりと準備を進めていきます。

笠原中学校 熊崎健一 校長



令和6年に、小学校の校舎解体、新校舎建設のため、中学校の敷地内へ移転した当初は児童たちへの影響をととても心配していましたが、子どもたちの対応力、適応力は素晴らしく、私たちの想像を遥かに上回る生活も、はや1年半を過ぎました。

場所は変わっても、暑い日も寒い日も雨の日も雪の日も、一緒に朝のあいさつ活動をしてくれる子どもたちがいます。中学生や先生、外部からのお客様に元気にさわやかな挨拶ができる子どもたちが育っています。

笠原の伝統とも言える掃除でも、雑巾に穴が開くほど掃除に打ち込む子がいます。半年後の引っ越しの時に、今使っているプレハブ校舎を美しい状態で返そうと、子どもたちは今から一生懸命掃除に取り組んでいます。

日々、自分づくり、仲間づくりに励み、笠原小中学校の主役となって活躍していつてくれる、そんな児童たちが育っています。

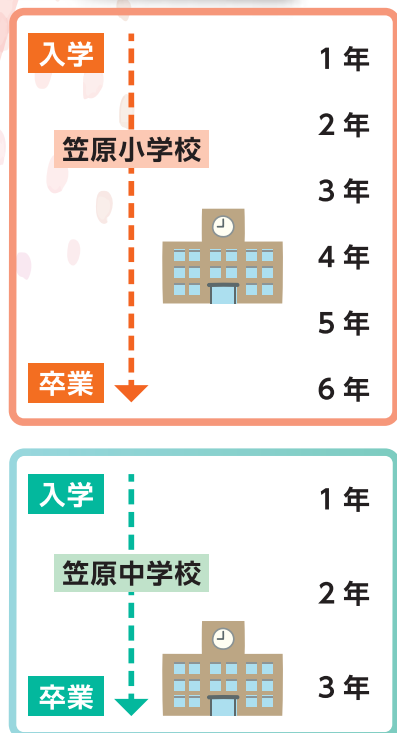
校舎移転後は中学生との活動を通じて、将来の自分の姿を重ね合わせ、「いつか自分たちもあんな風になりたい」そんな思いをもちながら、子どもたちは開校を楽しみにしています。あと数カ月、児童、保護者、地域の方と共に、新しい学校づくりに邁進します。

笠原小学校 加知昌彦 校長

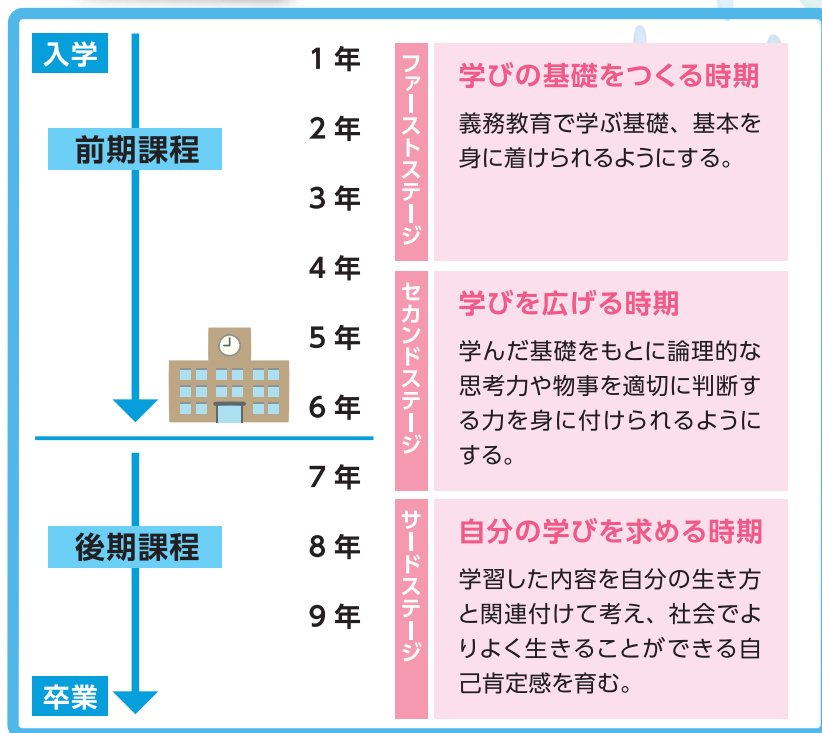
学年段階の区切りが変わります



小・中学校



笠原小中学校



■前期課程、後期課程の授業時間について

これまでどおり、前期課程は45分授業、後期課程は50分授業を行います。授業の間の休み時間などで調整し、朝の会、給食開始時間や昼休み、掃除の時間は全校で一斉に実施できるよう調整します。

■学校の行事について

スポーツフェスティバル(運動会、体育大会)は全学年一緒に実施します。修学旅行などはこれまでどおり、6年生次、9年生次に行います。1年生で入学式、9年生で卒業式を行うほか、6年生では、前期課程修了式を行います。

■先生の配置

前期課程、後期課程に捉われず、教科の指導を行います。また、段階的に教科担任制の授業を拡大していく予定です。

東濃初の義務教育学校開校に向けて

笠原小学校、笠原中学校は、小学校校舎の建て替え工事にともない、令和6年度から同じ敷地内で生活をしています。中学生にとって年長者として責任感を、小学生にとっては、「いつか自分も成長してあんな風になりたい」と憧れる気持ちを、お互い感じ合う存在だと思えます。こういった存在が身近にあるのは素晴らしいことだと思います。令和6年度当初、昼休みには、元気な小学生に中学生が遠慮して遊ぶ場所を譲るような様子もあったようですが、何ヶ月か経つうちに一緒に遊ぶ姿が出てきました。教員が意図的に何かをやらせようとするのではなく、子どもたちは自身の力で、交流する力、適応していく力を持っていると感じました。その過程には、摩擦やデメリットもあったかもしれませんが、子どもたちはしっ



多治見市教育委員会教育長
仙石 浩之

かりと解決していく力がありました。こういった経験が子どもの自信や自己肯定感を育んでいくのだと思います。小中学校になり、こういった機会がさらに増えることを期待しています。

開校に向けた地域の皆さんの応援には本当に感謝しています。小学校が今の中学校に移動して、活動を始めると同時にPTA活動や、高齢者の方の通学の見守りなど、教育委員会からお願いをする前に地域の皆さんが自主的に動いてくださいました。これは本当にありがたいことですし、これからもこういった地域の連携が続いていくことを願っています。